

■ 市役所庁舎建替え状況に関する市民説明会の結果概要

会 場	桜台市民センター	東岸和田市民センター	山直市民センター	八木市民センター	春木市民センター	市立公民館・中央地区公民館
日 時	平成 30 年 9 月 4 日（火） ※台風のため中止	平成 30 年 9 月 9 日（日） 10：00～11：30	平成 30 年 9 月 11 日（火） 19：00～19：40	平成 30 年 9 月 13 日（木） 19：00～19：40	平成 30 年 9 月 26 日（水） 19：00～20：00	平成 30 年 9 月 28 日（金） 19：00～19：50
参加者		6 名	2 名	7 名	5 名	11 名
事務局		公共施設マネジメント課長、課員（2 名）				
説 明 内 容	岸和田市庁舎の建て替え検討について ① 現庁舎の状況と建て替えの必要性（現庁舎の概要・現庁舎の課題・新庁舎の必要性）⇒ 庁舎の老朽化、耐震性能の不足、施設の分散・狭隘化 → 建替えによる防災拠点化・市民サービスの向上 ② 庁舎建て替え検討の経緯 ⇒ H23：建替えの方針・庁内検討委員会発足→H25：庁内検討委員会報告書において 3 候補地を示す→H29：建設候補地を指標による客観的評価を行うことを決定 ③ 建設候補地について ⇒ 「福祉総合センター等敷地」と「現在位置」の 2 候補地を、防災性・利便性・まちづくり・環境への影響・経済性の観点で評価を行い、今年度、建設地決定を目指す ④ 庁舎建設スケジュール ⇒ 今年度、建設地を決定できれば、来年度（2019 年度）から、庁舎建設の基本計画・設計・着工と進み、並行して候補地で無くなった用地の利活用の検討を進める。					
主 な 意見等	市民の意見			市（事務局）の考え		
	建設候補地	● 現庁舎の位置で建て替えは、仮庁舎が必要なので、それに係る費用が無駄である。 ● 福祉総合センター敷地は、自動車の進入口が1 か所で、袋小路のような状態。民有地を買収して間口を広げる、駅に近い通用門を使うなどしないと、非常に使い辛い敷地であり、解消するための民地買収なども考えているのか。		● 福祉総合センター敷地の場合は、出入口が狭いので道路整備が必要と考えられ費用がかかり、現庁舎位置の場合は、仮庁舎を用意する必要があり、その分費用と工期がかかる。それ以外にも、防災性、利便性、まちづくり、環境への影響、経済性から、双方の候補地における長所短所を踏まえて総合的に判断し、そのために必要な調査を現在実施している。		
		● 岸和田駅東停車場線に自転車道ができてから、松風庵のあたりまで自動車が並んでいる時もあるが、交通量は大丈夫なのか。		● 平成 26 年度に交通量調査を実施した時は、庁舎を建てても交通量としては問題ないという結果であったが、自転車道ができるなど、当時から道路状況も変わっているので、もう一度、交通量調査を実施しているところである。		
		● 福祉総合センター敷地で駐車台数は十分確保できるのか。自家用車による利用者が来庁しづらくなるのではないかと不安を感じる。		● どちらの敷地に建設することになっても、現状の駐車状況を考慮した駐車場計画を行うことになる。福祉総合センター敷地だと岸和田駅やバスターミナルに近いので、公共交通機関である電車・バス・タクシーの利用がしやすい。		
		● 福祉総合センターを建設する時に、庁舎と複合して建設すればよかったのではないか。		● 先行した福祉総合センターの建て替えは、センターの老朽化が進んでいたこともあり早急に建て替える必要があると判断し建て替えを行った。		
	その他の候補地	● 公園等の他の場所は候補地として考えられないのか。 ● 駅の乗降者も岸和田駅より東岸和田駅の方が多く、もっと山手側にある方が市民の利便性も良いと思う。		● 平成 25 年報告書を作成する時点で、公園等についても検討を行い、市の計画との整合性等も考慮し、実現性が高い場所 3 か所を候補地として選定した。その後、福祉総合センター敷地と現庁舎敷地の 2 か所に絞り、第 2 回の定例議会の特別委員会への報告と、この 2 箇所より建設地を選定するための調査実施にかかる予算の承認がなされ、現在 1 か所に絞るための業務を行っている。		
● 阪南 2 区なら広い場所を確保できると思うので、候補地として活用できないのか。		● 阪南 2 区は津波の浸水被害を受けない想定であるが、周辺の阪南 1 区付近は浸水の恐れがあるため、孤立してしまう可能性が高いので、災害対策本部として機能する市役所の建設は不適である。				
建設計画等	● リスク管理のために、バックアップ機能を持たすため庁舎を 2 か所に分散して建設するのも良いのではないか。			● 単純に庁舎を 2 分割すると、人員や経費が余計にかかり効率的でない。 ● 最近は、住民票の発行業務などは市民センターとコンビニ交付により利便性の向上が図られているところであるが、相談を要する業務を考えると、窓口業務は分散せずにとままっているほうが良いと考えている。 ● 窓口と企画部門を別にするなどの分散は、今後の建物の検討の中で考えられるかもしれない。 ● データのバックアップを別の建物にすることは有効と考える。		

		● ホテルや、豊島区のようなマンション、老朽化した図書館などとの複合化、または跡地に図書館を建て替えるなどの計画はないのか。	● 先に行ったサウンディング調査結果にもあるが、どちらの候補地についても敷地条件からするとホテル等の大規模な施設との合築は難しい。跡地での計画については建設地決定後、具体的に考えていく予定である。
		● 今後、人口減少が進めば職員も減少していくはずであり、それを見据えた庁舎の床面積にしておくべきである。	● 建設地の評価は現状の職員数による床面積をベースとするが、人口減少も見据えて、新庁舎の設計時において一定考慮していくものだと考えている。
	資金計画等	● 新庁舎の規模ならびに建設費はどのくらい必要と思っているのか。	● 延床面積で約 25,000 m²、費用は 100 億円程度と試算している。
		● 庁舎建設の為に資金は準備できているのか。	● 基本的に庁舎建設に利用できる国庫補助はないので、市の起債の活用となる。
		● 庁舎建設に利用できる国庫補助はあるのか。	● 平成 32 年度までの期間限定の庁舎建設に利用できる起債措置があり、10 億円の自己資金で 90 億円を借り入れることができるので、この制度の継続を、国に要望している。
	合意形成等	● 今年度中に建設地を決めないとダメなのか。防災面や全体の開発計画を考えるなら、じっくり時間をかけて考えてほしい。	● 今後の災害に対するリスクをどこまで許容できるのか、リスクに対応するためにも速やかな検討が必要である。
		● 市議会でも庁舎建設について検討を行っているのか。	● 市議会でも特別委員会を設けて検討している。
		● 誰が建設地を決定するのか。	● 庁内で検討資料を作成し、市長が判断を行い、市議会に諮ることになる。
		● 建設地を決定する前の段階での説明や、意見を言う機会は無いのか。 ● 説明会に多数参加してもらうためには、町会等に出席を依頼するなど、告知方法を色々考えたほうが良い。	● 市のホームページからの投稿や市民センターのご意見箱、直接電話していただくことや、今後の市民向け説明会の開催などいろいろな機会を通して市民のご意見をお聞きしたいと考えている。 ● 広報、ホームページで周知している。 ● ホームページからの投稿や、電話で直接伝えていただくこともできるので、ご意見などがあれば、利用していただきたい。
	その他の意見等	● 岸和田市には美術館などの文化に触れる施設が無いので、市役所を建設するなら、そのような機能も含めた施設にしてほしい。 ● もしも庁舎が移転したら、移転後の庁舎撤去後は、建物を建てずに、岸和田城が直接見ることができるような敷地整備をしてはどうかと思う。 ● 建設地の評価には、利便性だけでなく、歴史としての評価やまちづくりの観点も考えてほしい。もしも現在の位置から庁舎が移転したら、跡地としての使い方が決まったとしても、現在の場所は空洞化して寂れていくと思う。	● 意見としてお聞きする。

■ 市役所庁舎建替えに関する地元町会（市役所周辺）説明会の結果概要

町 会	岸城町北部町会	岸城町南部町会	本町
日 時	平成 30 年 7 月 5 日（木） 19：30～21：00	平成 30 年 7 月 14 日（土） 19：30～20：30	平成 30 年 8 月 5 日（日） 12：00～12：40
場 所	岸城町北部町会館	岸城町南部町会館	本町町会館
参加者	岸城町北部町会住民 約 10 名	岸城町南部町会住民 約 10 名	本町町会住民・本町のまちづくりを考える会役員 約 10 名
事務局	総務部長、公共施設マネジメント課長、課員	総務部長、公共施設マネジメント課長、課員	総務部長、公共施設マネジメント課長、課員
説 明 内 容	岸和田市庁舎の建て替え検討について ① 現庁舎の状況と建て替えの必要性（現庁舎の概要・現庁舎の課題・新庁舎の必要性）⇒ 庁舎の老朽化、耐震性能の不足、施設の分散・狭隘化 → 建替えによる防災拠点化・市民サービスの向上 ② 庁舎建て替え検討の経緯 ⇒ H23：建替えの方針・庁内検討委員会発足、H25：庁内検討委員会報告書において 3 候補地を示す、H29：建設候補地を指標を設けて客観的評価を行うことを決定 ③ 建設候補地について ⇒ 「福祉総合センター等敷地」と「現在位置」の 2 候補地を、防災性・利便性・まちづくり・環境への影響・経済性の観点で評価を行い、建設地を決定する。 ④ 庁舎建設スケジュール ⇒ 今年度、建設地を決定すれば、来年度からは庁舎建設の基本計画づくりと、並行して跡地利用の検討を進めてゆく。		
意見等	● 移転する場合は跡地の利用方法が一番の関心事なので、将来の跡地利用をどう考えているのか示してもらいたい。 ● 建設地がどちらになっても、良いものができればと思うので、建替えも跡地利用も同列に考えてもらいたい。 ● 岸城町で建替えるならどの位の規模を想定しているのか等、新庁舎のイメージを聞かせてもらいたい。市としてのビジョンがあるからまちづくりに協力して欲しい、意見を出し合おうとか、そういう感覚の話ができれば凄く良いと思う。 ● 岸城町で建替える場合は、現庁舎の近くに仮庁舎を建てる方が利便性は高い。仮庁舎であっても、その後に別の利用ができるような、例えば文化ゾーン的一端を担うような建物が良いと思う。 ● 現庁舎の位置が防災上安全なのか気になる。	● 旧館・新館は構造上耐震補強がしやすいはずなので、建替えなくても耐震改修で対応できると思う。 ● 例えばデパートでは一部を改装しながら営業しており、今ある庁舎を使用しながら改修を進める方法もあると思う。 ● 地元だけ説明するのではなく、町会連合会等にも説明すべき。 ● 跡地利用の取組はもっと早くから具体的なデザインを作っておくべき。 ● 裁判所跡地の利活用も含め市の考えを示してもらいたい。 ● 岸和田市の中で、市役所がどのように位置付けられているのかランドデザインを作るべき。 ● 岸和田市のランドデザインが城下町をアピールするものであるなら市役所も含めて城下町を形成していると思うので、移転した場合にその地域をどうしていくのかも評価すべき。 ● 先ず財政負担を考えて、確保できる予算から建設方法を考えるべきである。資金を確保できないなら、耐震化で延命してその間に資金を貯めたり、庁舎外に市役所の機能を分散させたり等の方法もあると思う。数字の裏付けがある計画にすべき。 ● 耐震改修・建替えをした場合、それぞれ寿命と費用を算出し、跡地の有効利用も含めて、経済性にどれだけの差があるのかシミュレーションが必要、根拠が無いと意見も出せない。 ● 税金で建てる以上は、我々を納得させるだけの裏付けあるデータや計画を示して、市として自信を持って建設地を決めてもらいたい。	● もし建設地が福祉総合センター敷地になった場合、現在地の跡地利用が一番の問題である。 ● 現在地を売却などして大きなビルが建つと景観上の問題があり、心配。 ● 岸和田駅前車の不法駐車も多く、福祉総合センターは自動車の出入口が狭いので、移転した場合には出入車両による交通の混雑が懸念される。 ● 交通利便性において、電車を利用して市役所に来る市民は限られており、多くは自動車か自転車を利用しているので、あまり考えなくてよいと思う。 ● 現在地で建替る場合は、お城や観光にそぐわないような景観の庁舎は考えないでほしい。 ● 福祉総合センター敷地は、もっと商業的に利用したほうが良いと思う。
所感	● 参加者の多くは現在位置での建替えを希望しているが、移転の可能性についても理解はしてくれている。 ● 移転する場合は、跡地をどう活用するのが最大の課題（裁判所跡駐車場の利活用も含む）。単純な売却等是有り得ない。 ● 現在位置での建替え・跡地利用のどちらにおいても、市としての岸和田城周辺の文化・観光に資する計画・ランドデザインが求められる。		